

統合医療と症状緩和： 私たちのがん医療モデル

日時 2024年6月12日（水）17：30～18：30

場所 聖隷三方原病院 救急棟3階
大ホールおよびWeb配信

演者 ガブリエル・ロペス 先生

MD アンダーソンがんセンター
緩和・リハビリテーション・統合医療部 准教授

対象 医療介護従事者

言語 英語（適宜、日本語通訳あり）



会場でのご参加は、申込み不要で直接会場にお越しください。

WEB視聴をご希望の方は、申込みフォームよりお申し込みください。
（WEBEXを使用します）

<https://forms.gle/Pz6mJi8g27kD59U27>



「統合医療（Integrative medicine）」について聞かれたことはあるでしょうか。

統合医療では、サブリ、鍼灸、ヨガ、マッサージ、栄養、運動、心理、瞑想、音楽療法など様々なアプローチが症状緩和やQOL向上目的に使われています。

海外では米国臨床腫瘍学会（American Society of Clinical Oncology: ASCO）や統合腫瘍学会（Society for Integrative Oncology: SIO）等からエビデンスに基づいた症状緩和における統合医療の推奨が出されています。

このたび、がんサポートセンターでは統合医療の講演会を企画いたしました。

統合医療をご専門にされている緩和ケア医で、テキサス大学 MD アンダーソンがんセンターで統合医療を実装されている Gabriel Lopez 先生に、がんやその他の疾患における統合医療のアプローチについて、臨床的、教育的、学術的なご講演をしていただきます。

当日は日本語のレジメも用意し、適宜通訳も入れさせていただく予定です。

このまたとない機会に、統合医療のエビデンスや臨床について、多職種の皆様と共に学びを深められれば幸いです。

オーガナイザー 森 雅紀（聖隷三方原病院 緩和支援診療科 部長）